

看護系大学における教育と臨地の連携強化に向けた取組に関するアンケート

※指導者の用語について

<病院 or 臨地側> ・「実習指導者」：その病棟(部署)で、実際に実習を担当する責任者 ・「スタッフナース」：その病棟(部署)で学生と接し、一緒に患者(対象者)へのケアを行う看護職者 <大学側> ・「担当教員」：その実習について実際に担当し、当該実習における学生の学びを把握する教員
--

I. 貴大学の属性

大学名									
大学の設置主体	1. 国立		2. 公立(都道府県・郡市立)			3. 私立			
法人化の有無	1. あり		2. なし						
取得できる資格 (▶ 1～4で該当するものに○ ▶ 2～4は該当する教育課程および選択・必修についても○)	1. 看護師 2. 保健師 a. 学士課程 (選択・必修) b. 大学院修士課程 3. 助産師 a. 学士課程 (選択・必修) b. 大学院修士課程 c. 専攻科 4. 養護教諭1種 a. 学士課程 (選択・必修)								
入学(進学 or 選択)定員数	看護師	保健師	助産師	養護教諭1種					
	人	人	人	人					
学部学年進行(平成23年度) 該当するものに○	1年生のみ在籍		2年生まで在籍		3年生まで在籍		4年生まで在籍		
大学院 学生定員数 ※()に種類を書き、学生定員数を記入して下さい。	修士・研究		修士・高度実践者			博士課程			
	()		()		()				
	人		人		人				
教員 現有数 (人)	職位	教授	准教授	講師	助教	助手	臨時助手	その他	計
	看護学								
	関連科学								
	合計								

II. 大学側の実習指導体制

Q1. 貴学の実習施設数と、主にどの施設でどのくらいの期間実習しているかについて、それぞれの実習領域における実習施設の種類毎に、ご記入下さい。1日は0.2週としてお答えください。

<実習領域>

- ・基礎実習：学生が最初に臨地・臨床で行う基礎看護学の実習
- ・専門領域実習：主として病院で実施する実習
- ・地域・施設実習：老人保健施設、保育所、保健センターなどの施設での実習
- ・統合実習：各種実習の仕上げとして行う看護学実習

実習領域	基礎実習		専門領域実習		地域実習		統合実習	
	施設数	最長期間(週)	施設数	最長期間(週)	施設数	最長期間(週)	施設数	最長期間(週)
附属病院・関連病院								
その他の病院								
訪問看護ステーション								
老人保健施設・特別養護老人								

ホーム・グループホーム								
保育所、幼稚園								
特別支援学級(小・中・高校)								
その他 1 ()								
その他 2 ()								
その他 3 ()								

Q2. 貴学の実習体制は、以下に示すどの型にあてはまりますか。該当する番号の□に✓をお付け下さい。

＜教員の指導体制＞

- ・教員常駐型：実習期間中、大学教員が実習場に常駐し、実習指導や評価は主に大学教員が行う
- ・教員巡回型：大学教員は実習場に常駐する事はなく、学生は主に実習場の看護職に指導を受ける

- ・基礎実習 1) □ 教員常駐型 2) □ 教員巡回型 3) □ 教員常駐型・教員巡回型が混在
- ・専門領域実習 1) □ 教員常駐型 2) □ 教員巡回型 3) □ 教員常駐型・教員巡回型が混在
- ・地域・施設実習 1) □ 教員常駐型 2) □ 教員巡回型 3) □ 教員常駐型・教員巡回型が混在
- ・統合実習 1) □ 教員常駐型 2) □ 教員巡回型 3) □ 教員常駐型・教員巡回型が混在

Q3. 貴学の看護教員が担当する実習期間の概略について伺います。1人の教員は、平均何週くらい実習指導を受け持っていますか。看護実習に関わる教員数と最短と最長、平均の週数をお答え下さい。

職名	担当者数 (人)	実習担当期間		
		最短(週)	最長(週)	平均(週)
教授				
准教授				
講師				
助教				
助手				
臨時助手				
その他				

Ⅲ. 臨床側の実習指導体制・・・主に病院での実習指導についてお伺いします。

Q4. 4つの実習領域毎に、実習病棟数と1病棟あたりの指導者数をご記入下さい。
また、病棟での＜主な指導者＞を3人以内で選び、その番号をご記入下さい。
大学側の教員（助手・助教等）が直接指導を担当している場合には「9」をご記入ください。

＜主な実習指導者＞ 1：教育師長 2：病棟師長 3：副師長・主任
4：実習指導者 5：スタッフナース 9：大学側教員

		基礎実習			専門領域実習			地域実習			統合実習		
1	病棟数												
2	病棟での主たる指導者												

Q5. 下記の実習内容毎に＜主な実習指導者＞を3人以内で選び、その番号を上記「1-5, 9」でご記入下さい。

実習指導の内容		基礎実習			専門領域実習			地域実習			統合実習		
ア	実習病棟（施設）の選定												
イ	実習病棟(施設)のオリエンテーション												
ウ	スタッフナース（施設職員）との調整												
エ	受持ち患者・クラス(DM 教室等)の選定												

オ	受持患者・クラスへの直接のケア指導																			
カ	学生の看護実践へのフィードバック																			
キ	日々の学びについての指導																			
ク	日々の記録についての指導																			
ケ	看護記録（実習記録）への記入指導																			
コ	実習態度についての指導																			
サ	まとめのカンファレンス																			
シ	学びに対する評価																			
ス	その他（ ）																			
セ	その他（ ）																			

Q6. 実習担当職員のうち、実習に専従する看護師は配置されていますか。

配置されていれば、その人数と働き方について伺います。2)3)に人数を記入し、4)の当てはまる番号すべての□に✓をお願いします（複数回答可）。

- 1) 実習に専従する看護師が 配置されている、
配置されていない
- 2) 1病院（施設）当たり専従指導者数 最小（ ）人 ～最大（ ）人
- 3) 1病棟（単位）あたり専従指導者数 最小（ ）人 ～最大（ ）人
- 4) 実習専従指導者の勤務・役割について
 - 専従指導者は、実習期間中は日勤のみの勤務である。
 - 専従指導者は、実習期間中でも夜勤があり、日中不在のことがある。
 - 実習学生の指導は、主に専従指導者が行う。
 - 実習学生の指導は、専従指導者と大学の教員が分担して行う。
 - 専従指導者はいるが、実習学生の指導は、主に大学の教員が行う。

IV. 臨床実習施設と大学との交流

A. 臨床実習施設の看護職の大学への教育等の参加についてお伺いします。

Q7. 臨床実習施設の看護職が、貴大学の学生への教育活動等に直接参加する機会がありますか。

- 1) ある → Q8にお答えください
- 2) ない

Q8. Q7で「1)ある」の場合についてお訊ねします。1)～5)の教育活動の種類毎に、有無と①～②の各々について当てはまる回答を表にご記入下さい。

①交流活動へのおよその参加時間（該当者が複数の場合は合算した時間）を年単位でお答え下さい。

- (1) 10 時間未満
- (2) 11～20 時間
- (3) 21～40 時間
- (4) 41 時間以上

②その参加について、所属施設の職務との関係はどのように整理されていますか

- (1) 職員の本務の一部として行っている
- (2) 大学の非常勤講師として行っている
- (3) 大学の臨床教授等として行っている
- (4) 人事交流制度を利用して行っている
- (5) その他

活動内容	担当している場合に✓印					① 参加時間	② 職務との関係
	看護部長	教育師 長	病棟師 長	副師長 ・主任	スタッフ ナース		
1)学内講義を担当							
2)学内演習を担当							
3) 実習調整							
4) 実習指導							
5) 実習単位認定参加							
6) 教授会への参加							
7)その他 ()							

B. 臨床教授制——学士課程と大学院の教育についてお伺いします。

Q9. 貴大学では臨床教授制を実施していますか。臨床教授制とは、臨床実習指導体制等の充実を図るため、学部以外の優れた医療人に「臨床教授」等を付与する制度です。

あてはまる欄に✓を記入してください。

実施している場合は、Q10～Q15にお答えください

	学士課程	修士課程・研究	修士課程・高度実践者	博士課程
実施している				
実施予定である				
実施していない				

Q10. 臨床教授制度に関し、どの課程で、どの職位を、いくつの施設に対して、何人くらい、出していますか。該当するもの全てに数値を記入してください。

	学士課程		修士課程・研究		修士課程・高度実践者		博士課程	
	施設数	人	施設数	人	施設数	人	施設数	人
臨床教授								
臨床准教授								
臨床講師								
臨床助教								
その他 ()								

Q11. 臨床教授等が担当している業務について職位毎に当てはまる欄に✓をお付け下さい（複数回答）。

	内容	臨床教授	臨床准教授	臨床講師	臨床助教
学士課程	1)学内講義を担当				
	2)学内演習を担当				
	3) 実習調整				
	4) 実習指導				
	5) 実習単位認定参加				
	6) 教授会への参加				
	7)その他 ()				
大学院 研究者養成 (修士課程) (博士課程)	1)学内講義を担当				
	2)学内演習を担当				
	3) 実習調整				
	4) 実習指導				
	5) 実習単位認定参加				
	6) 教授会への参加				

	7)その他 ()				
大学院 高度実践者 養成	1)学内講義を担当				
	2)学内演習を担当				
	3) 実習調整				
	4) 実習指導				
	5) 実習単位認定参加				
	6) 教授会への参加				
	7)その他 ()				

Q12. 臨床教授等を出すための条件について、あてはまる欄に✓を付けてください。
 修士課程で、教育する種別に付与している場合は、種別毎（CNS、助産師等）に記入してください。

内容	項目	学士課程				大学院・研究			大学院・高度実践者養成		
		臨床教授	臨床准教授	臨床講師	臨床助教	臨床教授	臨床准教授	臨床講師	臨床教授	臨床准教授	臨床講師
臨床経験	10年以上										
	15年以上										
	20年以上										
	25年以上										
	30年以上										
	その他 ()										
	特に関係ない										
職位	看護部長										
	副看護部長										
	看護師長										
	副看護師長										
	リーダー										
	その他 ()										
	特に関係ない										
学位	学士										
	修士										
	博士										
	その他 ()										
	特に関係ない										
資格	臨床実習指導者講習会受講者										
	看護教員養成コース受講者										
	その他 ()										
	特に関係ない										
推薦	実習施設から										
	その他 ()										
その他	()										

Q13. 臨床教授等の付与規定がありましたら、書類を添付、もしくはご記入をお願い致します。

Q14. 臨床教授等に対して大学からの報酬はありますか。あてはまる欄に✓をお付け下さい

- 1) ある → Q14-2 にお答えください
- 2) ない

Q14-2. Q14 で「1)ある」場合、算定基準等の概略について書類を添付もしくはご記入をお願い致します。

Q15. 臨床教授等制度によるメリットはありますか。あてはまる欄に✓をお付け下さい

- 1) ある → Q15-2 にお答えください
- 2) どちらともいえない → Q15-3 にお答えください
- 3) 無い → Q15-3 にお答えください

Q15-2. Q15 で「1)ある」場合、メリットの内容について該当箇所に✓もしくはご記入をお願い致します。

1) 実習協力姿勢の向上

2) 本学を優先してもらえる

3) その他 :

Q15-3. Q15 で「2)どちらともいえない」「3」無い」場合、臨床教授制度の効果を上げるために必要な事項について、ご記入をお願い致します。

C. 大学教員の臨地実習施設の活動等への参加についてお伺いします。

Q16. 貴大学の教員が、臨地実習施設の活動等に参加する機会がありますか。

- 1) ある → Q17 にお答えください
- 2) ない

Q17. Q16 で「1)ある」の場合についてお訊ねします。どのような活動に参加していますか。

実施している活動内容☑を、また、本務との関係を表にご記入下さい。

- 1) 教員の本務の一部
- 2) 病院の非常勤職員として実施 (有給)
- 3) 病院の研究員等として実施 (無給)
- 4) 人事交流制度を利用して実施
- 5) その他

活動内容	実施している場合に✓して下さい					本務との関係
	教授	准教授	講師	助教	助手	
1)研究指導						
2)研究の評価・コメント						
3)事例検討会に参加・運営						
4)施設内研修の企画立案、実施、評価						
5)施設内研修の講師						
6)施設内委員会に参加(教育、感染・災害対策等)						

7)看護実践にスタッフとして参加						
8)看護専門外来に参加・運営						
9)専門領域における看護回診等						
10)その他 ()						

D. 臨地実習施設と大学との共同活動についてお伺いします。

Q18. 臨地実習施設と貴大学との共同活動として取り組んでいることとして、当てはまる番号すべての

に✓をお付け下さい（複数回答可）。

- 1) 研修会の共同開催
- 2) 共同研究の実施
- 3) 臨地実習施設看護職の大学での聴講受入れ →Q19 にお答えください
- 4) 臨地実習施設看護職の学部への編入学の奨励 →Q20 にお答えください
- 5) 臨地実習施設看護職の大学院への進学奨励 →Q21 にお答えください
- 6) 実習病院・施設での教員の研修
- 7) 実習病院・施設での学生ボランティア推進
- 8) 卒業生の実習病院・施設への就職を奨励 →Q22 にお答えください
- 9) 実習病院・施設で行われるイベントへの参加（共同企画含む）
- 10) その他 ()

Q19. Q18で「3)臨地実習施設看護職の大学での聴講受入れ」を実施している場合、どのような受入れ策をとっていますか。当てはまる番号すべてのに✓をお付け下さい（複数回答可）。

- 1) 施設内研修の一部として受け入れている
- 2) 授業料を施設側が負担している
- 3) 聴講生の勤務を施設側が調整している
- 4) 大学側が受講料を免除している
- 5) その他 ()

Q20. Q18で「4)臨地実習施設看護職の学部への編入学を奨励」している場合、どのような奨励策をとっていますか。当てはまる番号すべてのに✓をお付け下さい（複数回答可）。

- 1) 休職制度を設けている
- 2) 授業料を施設側が負担している
- 3) 入学金等を免除している
- 4) 臨地実習施設看護師向けの定員枠を設けている
- 5) その他 ()

Q21. Q18で「5)臨地実習施設看護職の大学院への進学を奨励」している場合、どのような奨励策をとっていますか。当てはまる番号すべてのに✓をお付け下さい（複数回答可）。

- 1) 休職制度を設けている
- 2) 授業料を施設側が負担している
- 3) 入学金等を免除している
- 4) 臨地実習施設看護師向けの定員枠を設けている
- 5) その他 ()

Q22. Q18で「8)卒業生の実習病院・施設への就職を奨励」している場合、どのような奨励策をとっていますか。当てはまる番号すべてのに✓をお付け下さい（複数回答可）。

- 1) 施設側が奨学金制度を設けている
- 2) 大学向けの就職定員枠を設けている
- 3) 大学向けの就職説明会を実施している
- 4) インターンシップを実施している
- 5) その他 ()

Q23. 大学と臨床との連携について、効果的な取り組みについてご紹介をお願いします。後日、ヒアリングをさせていただくことを視野に入れておりますので、できれば、その大学名もご記入ください。また資料がございましたら、添付をお願い申し上げます。

(大学名) _____
(取組内容)

Q24. 「看護系大学における教育と臨床の連携強化に向けた取組」に関して、ご意見等ございましたら、是非ご記入ください。

ご質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
本調査の結果は、10月24-26日に看護学教育研究共同利用拠点（千葉大学）で実施する看護学教育ワークショップで報告予定です。